

平将門公が繋いだ縁

両市が長年続けてきた交流について紹介します。



坂東市 木村 敏文 市長

両市の素晴らしい交流が現在まで続いてきましたことは、ひとえに南相馬市の皆様をはじめ、多くの先人の熱意とご尽力の賜物であり、心から敬意と感謝を申し上げます。平将門公が繋いでくれたこのご縁を大切に、今後もさらなる友好関係を築いてまいります。



観光
交流

三市交流3つの柱

スポーツ
交流

文化
交流



◀ 将門まつりには毎年、相馬野馬追騎馬武者が特別参加しています。平将門公の姿を現代に蘇らせるために欠かせない存在となっています。

▲ 将門ハーフマラソンには毎年、南相馬市の選手団が出場しています。また、南相馬市の「野馬追の里健康マラソン大会」には、坂東市の選手を派遣しています。



◀ 今年春に開催された南相馬市博物館企画展「野馬追トラベラーズ」で、郷土館ミュージアム所蔵の絵巻「相馬之馬追祭図」が展示されました。

はじまりは、34年前のスポーツ交流から



坂東市スポーツ協会
会長

おぎ い きみ お
荻井 公夫 さん

両市の交流は、第1回いわい将門ハーフマラソン大会（平成3年）に相馬野馬追マラソン選手団を招待したことから始まりました。当時から大会実行委員を務める荻井さんは、「平将門公がきっかけで繋がった二市が、多方面で交流を続けてきたことは大変素晴らしいこと。東日本大震災の時には、マラソン実行委員会として独自の支援を行うなど、南相馬市との絆は深いものと感じています。交流開始当時に知り合った担当の方とは、今でも連絡を取り合う仲です。」と話しました。



▲ 第1回マラソン大会プログラム

